

22



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

埼玉県知事 殿

提出者

住 所 埼玉県八潮市大字新町29番地3

氏 名 サンケミカル株式会社

代表取締役社長 大平 正人

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 048-935-2461

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	サンケミカル株式会社 本社工場
事業場の所在地	埼玉県八潮市大字新町29番地3
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	医薬品製造業
② 事業の規模	前年度売上額 23億円
③ 従業員数	60名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1 図 1. 製造工程フロー図、図 2. 廃棄物発生フロー図、及び 別紙 2 図 3. 廃棄物処理フロー図の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項				
(管理体制図)				
<pre> graph LR A[サンケミカル㈱ 本社工場] --- B[管理部 ・入出荷管理 ・貯蔵管理] A --- C[品質保証部] A --- D[製造部 ・全体管理 ・製造工程管理 ・廃棄物処理工程管理] C --- E[品質保証課 ・品質保証] C --- F[品質管理課 ・製造工程分析 ・原料分析 ・廃棄物処理工程管理] </pre>				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃油	木くず
	排出量	3,687 t	18 t	10 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	ガラスくず
	排出量	30 t	17 t	1 t
	産業廃棄物の種類			
	排出量			
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の排出が減少するように工程の改善検討を実施し、委託側メーカーに提案することにより、産業廃棄物の排出の減少に繋がった。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃油	木くず
	排出量	3,580 t	15 t	8 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	ガラスくず
	排出量	26 t	15 t	1 t
	産業廃棄物の種類			
	排出量			
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、産業廃棄物の排出量が減少するように工程の改善検討を実施し、委託側メーカーに提案することにより、産業廃棄物の排出の減少に繋がっていきます。			
産業廃棄物の分別に関する事項				
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の廃酸の濃度（COD、BOD）の高い廃液、低い廃液、洗浄水を同じ貯槽に貯蔵し、排出している。			
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の廃酸の濃度（COD、BOD）の高い廃液、低い廃液、洗浄水等の廃液を分別して貯蔵し、濃度の低い廃液の処理方法を検討し、排出量の減量を促進する。 ガラスくずに関して、処分するものとリサイクルするものに分別し、一部をリサイクルにまわす。			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 (該当なし)			
① 現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
③ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 (該当なし)			
① 現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
③ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 (該当なし)							
① 現状	【前年度 (年度) 実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t			t	
	(これまでに実施した取組)						
② 計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t			t	
	(今後実施する予定の取組)						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
① 現状	【前年度 (令和 4 年度) 実績】						
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃油	木くず	汚泥	廃プラスチック類	がらすくず
	全処理委託量	3,687 t	18 t	10 t	17 t	30 t	1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,636 t	18 t	0 t	17 t	8 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2,076 t	18 t	10 t	17 t	0 t	1 t
(これまでに実施した取組) 排出する溶媒の有価売却を進める。							

		【目標】					
		産業廃棄物の種類	廃酸	廃油	木くず	汚泥	廃プラスチック類
② 計画	全処理委託量	3,580 t	15 t	8 t	15 t	26 t	1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,800 t	15 t	2 t	15 t	10 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2,800 t	15 t	2 t	15 t	10 t	1 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き、当事業所では、排出する産業廃棄物は、処理業者へ委託していきませんが、製法改良等を検討し、排出量の削減及び環境負荷の低減に取り組みます。</p> <p>優良認定処理業者や熱回収業者への委託量を増やし、サーマルリサイクルを進めていきます。</p>						
※事務処理欄							

図 1. 製造工程フロー図

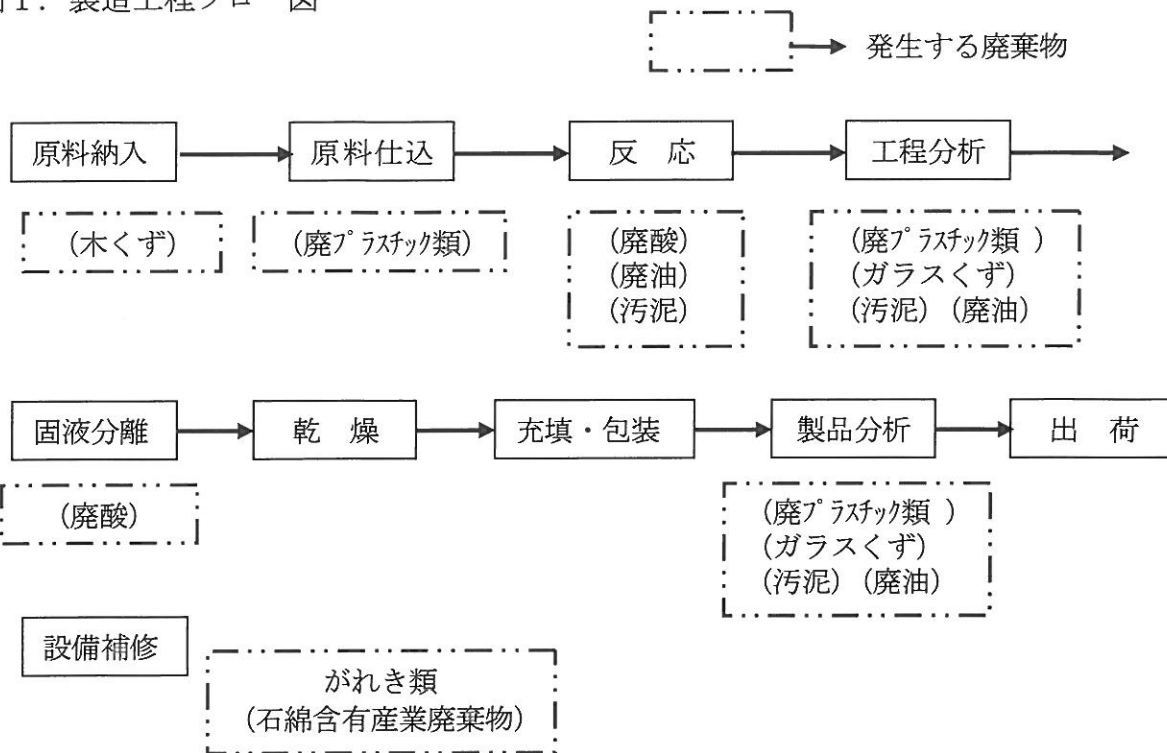


図 2. 廃棄物発生フロー図

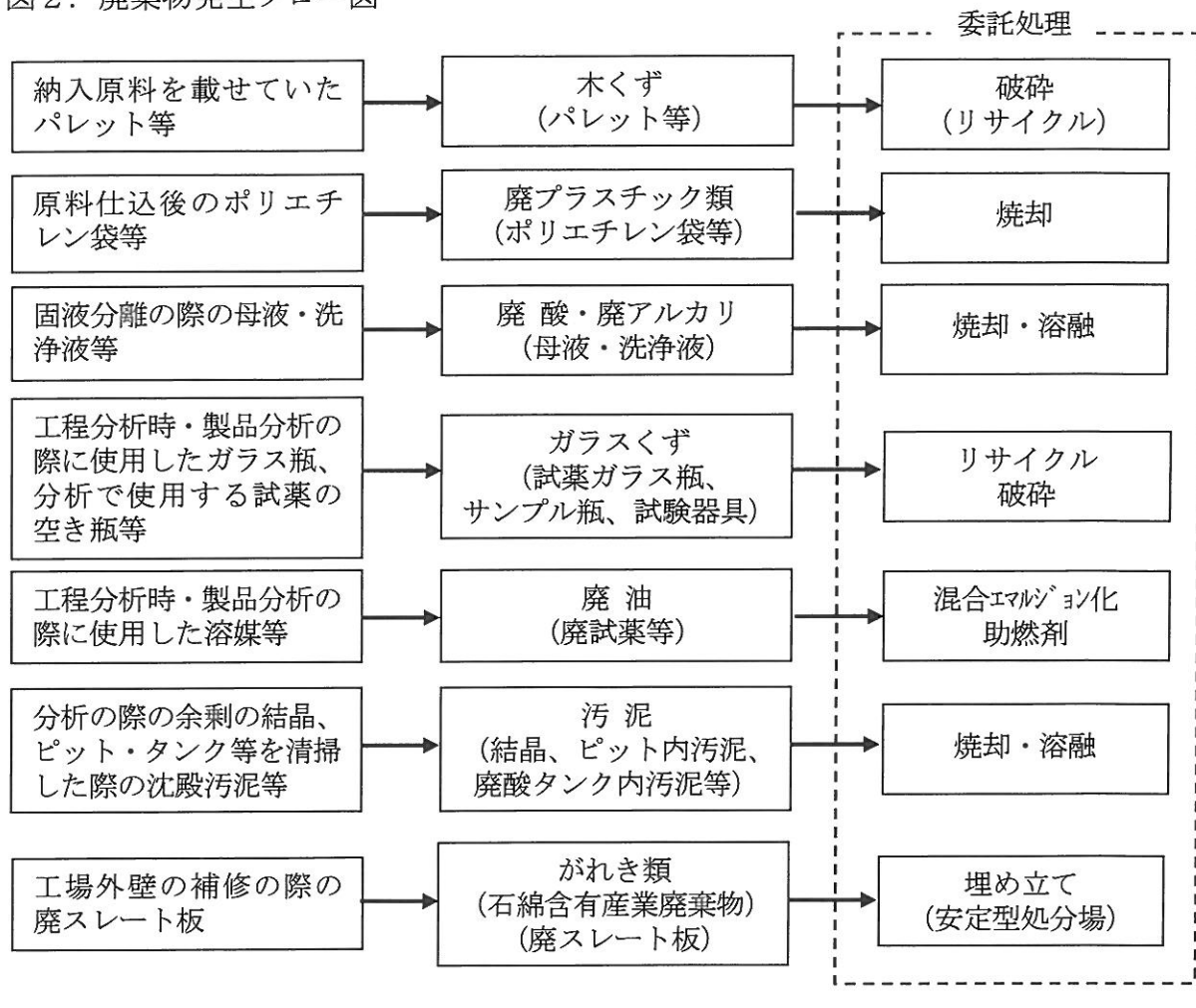
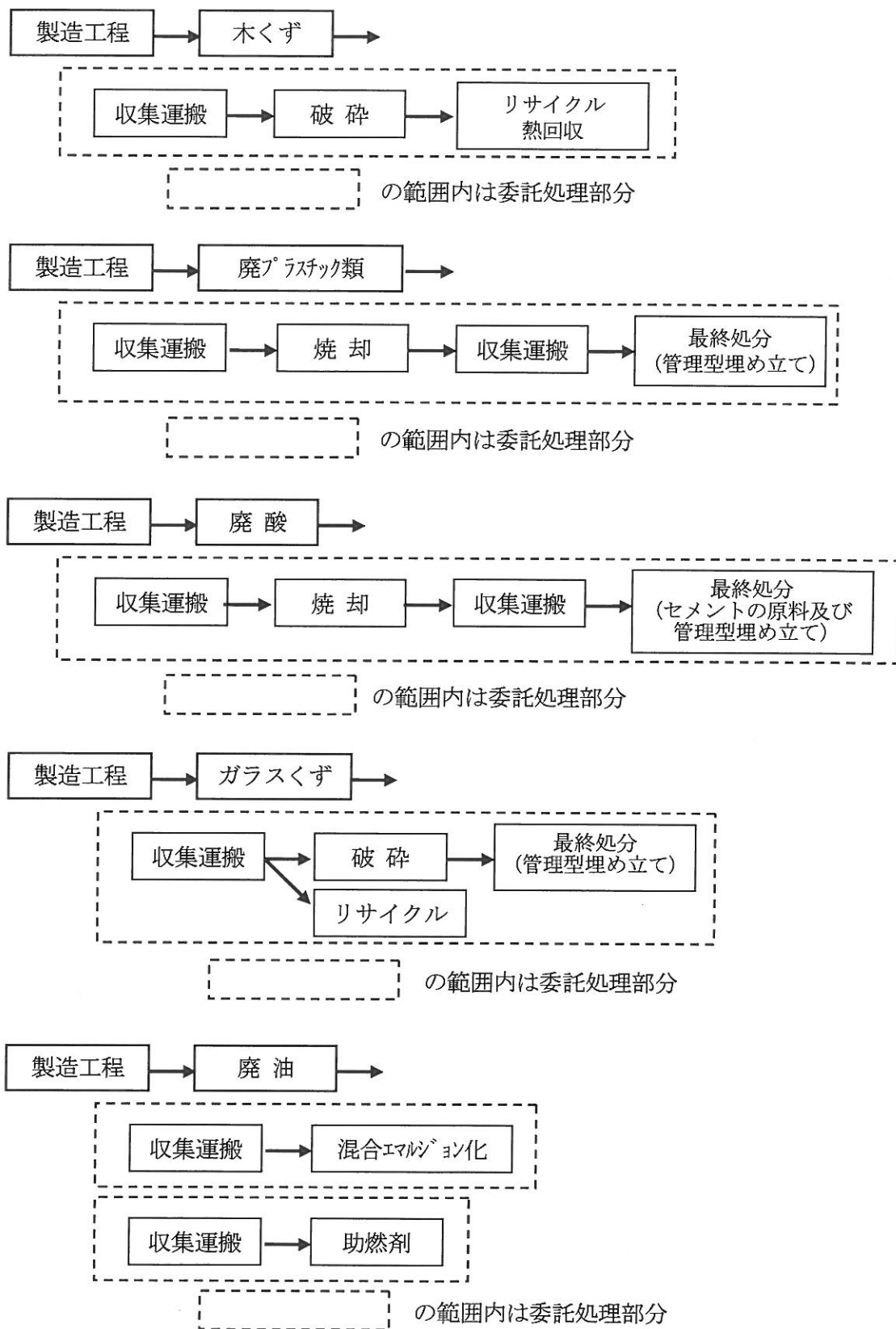
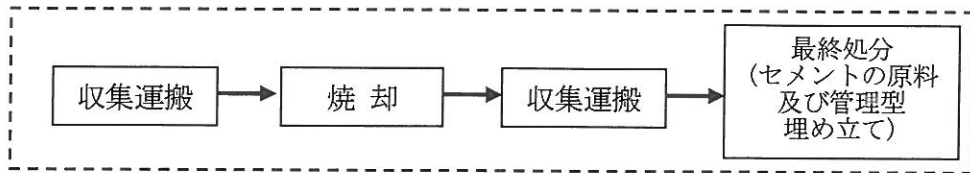
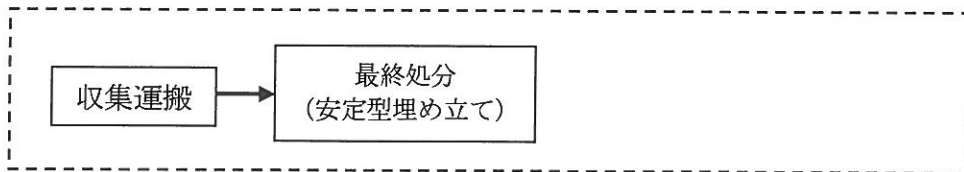
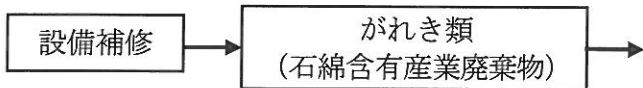


図3. 廃棄物処理フロー図





の範囲内は委託処理部分



の範囲内は委託処理部分